



# 議会だより つしま

No.24

2024

5月

令和6年

私たちはこの笑顔を守ります



「大谷グローブで野球しようぜ (R6.2.12)」

もぐり

- ★3月定例会あらまし……………2
- ★令和6年度予算関連……………11
- ★委員会審査報告……………3～5
- ★議会広報編集特別委員会行政視察 12
- ★3月定例会一般質問 6～10
- ★編集後記……………12

発行：対馬市議会

編集：対馬市議会広報編集特別委員会  
〒817-1201

長崎県対馬市豊玉町仁位380番地  
TEL 0920-58-1379 FAX 0920-58-1018  
E-mail t\_gikai@city-tsushima.jp



## 令和6年第1回対馬市議会臨時会の概要

令和6年第1回臨時会が1月26日に開かれ、1件の提出議案について審議され、可決されました。

- 令和5年度対馬市一般会計補正予算(第6号)

【議案】



## 令和6年第1回対馬市議会定例会の概要

令和6年第1回定例会が3月7日から3月27日(21日間)の日程で開かれ、39件の提出議案について審議されました。

一般質問は9人が登壇し、活発な議論が展開されました。

### 主な議案等



※ 議案、審議結果は対馬市議会ホームページに掲載しています。

議案



審議結果



### 6月定例会のお知らせ

令和6年第2回定例会は、6月中旬に開催を予定しています。  
※日程は、議会運営委員会で協議された後、ケーブルテレビ、議会ホームページに掲載しますので、ご確認ください。



# ■ 総務文教常任委員会報告

委員長 陶山 荘太郎

## 付託案件審査報告

【議案第2号】 令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）

### ● 主な歳入の内訳

- ・ 地方交付税及び企業版ふるさと納税などの寄附金の追加
- ・ 採択結果による国庫補助金の減

### ● 主な歳出の内訳

- ・ 事業費の確定及び組換えによる各予算科目の増減

【議案第12号】 令和6年度対馬市旅客定期航路事業特別会計予算

本航路は、浅茅湾沿岸集落の地域住民、特に高齢者・障がい者の通院などに欠かすことができない生活航路であり、一般旅客の他に、周遊観光も行っている。

### ● 歳入・歳出の総額 4,787万2千円

※人件費等の増加により、前年度から約380万円増額

### ● 主な歳入の内訳

- ・ 事業収入（一般・貸切・乗合・貨物運賃）
- ・ 赤字航路事業補助金（国・県）
- ・ 一般会計からの繰入金

### ● 主な歳出の内訳

- ・ 職員・船員の人件費等及び各協会への負担金
- ・ 運航に係る燃料費・修繕費等
- ・ 待合所建設・渡海船建造に係る費用の償還金

## ◆ ◆ ◆ 委員からの意見 ◆ ◆ ◆

定期航路として、安全・定時運航に努めるとともに、民業との均衡を考慮しつつ、周遊観光にも力を入れ、赤字抑制に努められたい。

## ◆ ◆ ◆ 審査結果 ◆ ◆ ◆

両議案とも、原案のとおり可決

## 所管事務調査報告

調査日 令和6年2月15日

### 消防本部・消防署中部支署

#### ● 対馬市の消防力の課題

- ・ 職員数が条例定数106名に対して17名欠員しており、職員不足に陥っている。
- ・ 火災出動は減少傾向にあるが、救急出動は、コロナや熱中症患者及び高齢化の影響で年々増加しており、負担が増えている。

#### ● 中部支署の運用及び概要

- ・ 職員数は支署長以下9名であり、3名の隔日勤務で峰出張所と連携し、業務を実施
- ・ 離隔されたトイレと浴室付の仮眠室2部屋があり、女性職員の勤務環境に配慮
- ・ 感染症対策室と非常用発電機が設置され、感染症対策及び停電時の運用に対応

#### ● 旧庁舎の活用

- ・ 将来的に庁舎を解体し、新庁舎と関連した訓練塔を建設する構想がある。

## お知らせ

◆ 救急安心センター（#7119）で、救急車の有効な利用に心掛けよう

長崎県でも、令和6年度中に運用開始予定 ※詳しくは運用開始後にご確認ください。

### 救急安心センターって何？

急な病気やケガをしたとき

#7119に電話をかける

医師や看護師などの専門家が、病気などの状態を把握し、緊急性を判断

緊急性が高い場合

緊急性が低い場合

救急車を要請

医療機関を案内

## ■ 厚生常任委員会報告

委員長 島居 真吾

### 付託案件審査報告

【議案第2号】 令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）

- 主な歳入の内訳
  - ・市税、個人市民税、固定資産税、たばこ税及び社会保障・番号制度システム整備費補助金の追加、保険基盤安定負担金の減

● 主な歳出の内訳

- ・戸籍電算システム改修委託料の追加

【議案第8号】 令和6年度対馬市診療所特別会計予算

- 歳入・歳出の総額  
4億6,507万3千円

● 主な歳出の内訳

- ・総務費：診療所運営に係る職員・会計年度任用職員及び医師の人件費
- ・医業費：医療用器具使用料

【議案第9号】 令和6年度対馬市国民健康保険特別会計予算

- 歳入・歳出の総額  
44億1,973万8千円

● 主な歳出の内訳

- ・総務費：長崎県国民健康保険団体連合会負担金、納税組合事務取扱費交付金
- ・国民健康保険事業費納付金
- ・保健事業費

【議案第10号】 令和6年度対馬市後期高齢者医療特別会計予算

- 歳入・歳出の総額  
5億1,422万1千円

● 主な歳出の内訳

- ・総務費：後期高齢者医療広域連合事務費負担金
- ・後期高齢者医療広域連合納付金

【議案第11号】 令和6年度対馬市介護保険特別会計予算

- 歳入・歳出の総額  
40億3,893万1千円

● 主な歳出の内訳

- ・総務費：介護認定審査会委員報酬及び意見書作成手数料
- ・保険給付費：居宅介護サービス給付費負担金、居宅介護予防サービス給付費負担金
- ・地域支援事業費：介護予防・生活支援サービス事業負担金

### ◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆

全議案について原案のとおり可決

### 所管事務調査報告

調査日 令和6年2月7日

#### 一般社団法人対馬CAPPA

#### 海岸漂着物対策事業

#### ● 中間支援業務委託

対馬市、国、県が海岸漂着物関係者間の連絡・調整・情報共有を行う組織

#### ● 業務内容

- ① 対馬市海岸漂着物対策推進協議会運営
  - ② 漂着物のトランクミュージアムの管理・運営
  - ③ 対馬海ごみ情報センター（ホームページ）の運営
  - ④ 日韓市民ビーチクリーンアップ・ワークショップの運営
  - ⑤ ボランティア団体受入
  - ⑥ 対馬市CATV（海ごみ問題一般的教育放送）番組制作
  - ⑦ 対馬海ごみシンポジウム
- 海岸漂着物モニタリング調査業務委託
- ・田ノ浜、青海、修理田浜、上槻、五根緒、ナイラ浜の6地点の海岸において、年4回モニタリング調査実施

#### ◆◆◆ 委員からの意見 ◆◆◆

・海岸環境の国際会議等で対馬の海岸漂着ごみの現状について情報発信し、国家間の相互理解や共通認識を深めてもらいたい。



## 産業建設常任委員会報告

委員長 坂本 充弘

### 付託案件審査報告

【議案第2号】 令和5年度対馬市一般会計補正予算（第8号）

●主な歳入の内訳

- 離島活性化交付金及び特定有人国境離島地域社会維持推進交付金
- 農産物生産出荷振興事業、公営住宅建設事業債

●主な歳出の内訳

- そば生産出荷奨励事業補助金、輸送コスト助成事業補助金、有害鳥獣捕獲補助金、市道尾浦線道路災害防除事業

【議案第13号】 令和6年度対馬市水道事業会計予算

●主な歳入の内訳

- 水道使用料、一般会計負担金、長期前受金戻入、企業債、国庫補助金、保証金

●主な歳出の内訳

- 人件費、検針等委託料、水質検査手数料、修繕費及び施設管理費

【議案第14号】 令和6年度対馬市漁業集落排水事業会計予算

●主な歳入の内訳

- 使用料、他会計負担金、他会計出資金

●主な歳出の内訳

- 維持管理費、委託料、企業債償還金

【議案第28号】 対馬市国際ターミナル条例の一部を改正する条例

施設使用料の改正

6歳以上12歳未満の者 100円→250円

12歳以上の者 200円→500円

◆◆◆◆◆ 審査結果 ◆◆◆◆◆

全議案について原案のとおり可決

### 所管事務調査報告

調査日 令和6年2月20日

三宇田浜周辺の観光施設等の整備状況、利用状況及び今後の計画について

### 上対馬振興部地域振興課

●現況

北部対馬の観光拠点と位置付け、利用者のニーズに対応したキャンプ施設に改修し、交流人口の増大と観光拠点としての機能充実を図ることを目的に、平成30年度からの6年間で国の自然環境整備交付金を活用し、約1億2千6百万円で三宇田浜園地リニューアル整備事業を実施

●事業内容

管理棟・あずまや・給水施設などの持込テントサイト整備、バンガロー・オートキャンプ場などの常設テントサイト整備

●キャンプ場

令和5年度の利用者数と使用料

621人

6万8千420円（4月～1月）

渚の湯

令和5年度の利用者数

2万2千688人（4月～1月）

●今後の利用計画

①令和6年度から令和7年度にかけて策定予定の（仮称）北部対馬アクションプランに盛り込み、計画的に取り組む。

②施設環境の充実や高付加価値化を図っていくため、フォトスポットや熱中症対策のための休憩棟の新設、AED設置、海水浴場でのマリンアクティビティの可能性について検討。

③渚の湯は老朽化が進んでいるため、施設管理者と連絡を密にし、安心安全な施設運営に努める。



# 市政を問う

9名の議員が一般質問



入江 有紀 … P 6	糸瀬 雅之 … P 7	小島 徳重 … P 7
小宮 教義 … P 8	伊原 徹 … P 8	脇本 啓喜 … P 9
大浦 孝司 … P 9	波田 政和 … P10	船越 洋一 … P10

## ◆比田勝市政の今後は



入江 有紀議員

(入江) 職員の人材育成、市民サービス及び、子ども食堂に対する職員の対応は。

(市長) 問い合わせの内容、趣旨を十分に確認したうえで、適切な回答をするよう職員を指導する。

(入江) 職員の仕事の悩み相談と今後のストレス対策は。

(市長) 現在、市職員が担う業務は多種多様化しており、各職員に対する負担が増大・複雑化している状況であり、その業務に対応すべく組織の見直しや人員配置を行っているが、なかなか満足できるような組織体制にはできていない。それぞれの部局で内容は違えども、市民の皆様が安心して

生活いただけるよう業務に取り組んでおり、担当する課内で役職に応じた業務を割り当てている。

(入江) 移動販売車に対する市政の今後の対応は。

(市長) 令和3年度から移動販売車による買い物支援を実証事業として実施している。企業の所有する移動販売車が美津島町の尾崎地区に毎週土曜日、賀谷地区に第1・第3火曜日、弁当などの食料品や日用品等を販売している。一日平均で25人程度の利用者があり、とても好評をいただいている。令和3年3月から上対馬・上県町で地元企業が買い物支援サービスを開始し、現在は峰町の一部まで範囲を拡大している。実証実験は徐々に地域を広げていきたい。



糸瀬 雅之議員

◆対馬市の行政運営は

(糸瀬) 2期8年の市政に對しての市民の支持率・評価は。

(市長) 今回の市長選挙においての結果で、これまでの市政に対する私の一定の評価は、得られたと感じている。しかしながら、市民の声を聞く中で、多くの課題に對し、今後も市民の声を市政に反映することを原点到、島づくりに取り組んでいく。

(糸瀬) 2050年、対馬市の人口は1万3千人台まで減少すると予測されるが、将来の想像される対馬市の姿や問題点は何か。

(市長) このまま人口減少が進んでいった場合、本市の人口は2050年には現在の半分以下になると推計されている。65歳以上の高

齢者人口は、総人口の50%を超え、労働力不足が深刻化し、社会保障費や老朽化したインフラ設備の修繕費等が増大し、税収は落ち込み、市の財政状況は一層厳しくなることが考えられる。人口減少の抑制に効く特効薬はないが、まちづくりの根幹に関わる最重要課題として、市民全体で危機意識を共有し、今後も人口減少の抑制につながる取り組みを進め、子どもから高齢者までが住み続けられる持続可能な島を目指す。

(糸瀬) 対馬島内では働き手・人材不足が課題であり、対馬市職員の地域貢献を目的とした公務員副業制度の導入をすべきでは。

(市長) 全国的に社会貢献活動に関する兼業について制度を定め、地域活動に関する兼業を積極的に推進している自治体もあるが、対馬市としては、法律の範囲内で必要に応じて対応する。



小島 徳重議員

◆健康寿命の改善は

(小島) 市民の健康づくりの課題、解決策は。

(市長) 健康寿命は男女とも国や県の平均には至っていない。令和4年度は、元年度に比べ、その差は半分程度に縮まっている。課題として、運動習慣がない人が多く、肥満者やメタボ該当者の割合が高い。ウォーキングイベントの開催や県の健康づくりアプリの普及・活用を通じて市民の運動習慣のきっかけづくりを行っている。次に、各種健診の受診率が伸び悩んでおり、広報「つしま」やケーブルテレビ等を通じて周知、健康推進員等による受診勧奨を実施している。

(小島) 県の長寿日本一事業の評価で、対馬市は最下位。「第3次健康つしま21

計画」で、きめ細かな施策の実施が必要。

◆近代化遺産の文化財指定は

(小島) 芋崎砲台跡、豊砲台跡の市文化財への指定は。

(教育長) 地権者の了解等、難しい状況があるが、市指定に向けて取り組む。

(小島) 「竹敷要港部」の取扱いは。

(教育長) 今後の研究課題である。

(小島) 姫神山砲台跡の調査・保存、県の文化財への申請は。

(教育長) 市の史跡として管理・活用を図ることが望ましい。まずは芋崎砲台跡、豊砲台跡の市指定を優先する。

(小島) 文化財課の市長部局への移管は。

(教育長) 法的には移管は可能。メリット・デメリットを精査し、方向性について検討が必要。

(市長) 教育委員会と協議を重ねる。



小宮 教義議員

◆3期目を目指しての市政運営は

(小宮) 地域マネージャー制度の法的位置づけが必要では。

(市長) 今後、検討する。

◆長崎県病院企業団の古いつばら病院に隣接する宿泊施設の活用方法は

(小宮) 市長は、市職員住宅に住んでいるが建物は市職員住宅であり「対馬市職員住宅管理規程」では、特別職公務員である市長は、入居することができない規定であるにも関わらず、なぜ入居しているのか。同規程では、入居申請書を市長あてに提出することが定められているが、自分で申請し自分で許可するということは、本末転倒である。し



かも家賃は3LDKで1万9千円、生活保護者3万8千円より約2万円安い家賃。同規程は地方自治法第154条の訓令であり、地方公務員法の適用、市長の入居は法令違反ではないか。

(市長) 規程違反であり、早急に退去する。

(小宮) 法令を遵守しない市長は、市長としての資格がないのではないか。



伊原 徹議員

◆近未来における本市のあべき姿は

(伊原) 人口減少の要因と対策は。

(市長) 島外への進学や就職による人口減少への取組として、しまぐらし応援室を設け、移住・定住を促す業務を実施している。

(伊原) 生産年齢層の移住拡大による施策は。

(市長) 後継者不足抑制のため、移住・定住促進情報発信や市内3高校の3年生を対象に、職安及び市内事業所と合同説明会を行っている。

(伊原) 少子化対策・子育て世代への支援は。

(市長) 医療費は、県の補助対象外である小中学生を対象に助成を行っている。また、保育料は、国の施策のほか、市独自の施策により、3歳児未満は住民税非

課税世帯を無償化、課税世帯においては国の基準額の7割で設定している。同一世帯で2人以上の児童が同時に保育所等を利用する場合は、2人目が半額、3人目以降は無料、給食費においては、副食費の無料化など、出産・子育て支援の拡充に取り組んでいる。

(伊原) 複数の部局が一体となった組織強化と事業策定は。

(市長) 重点施策や1000万円を超える事業費の必要性や緊急性を勘案し、振興実施計画を策定し、その結果は全部局に情報共有を図り予算編成を行っている。

(伊原) 自立と循環の島づくりの継続の考え方と施策展開は。

(市長) SDGs未来都市に選定されたことを機に、企業による海ゴミ再資源化事業など、地元経済の活性化や人口減少問題につながる地域創生事業を展開している。



脇本 啓喜議員

◆市民協働の進捗状況と今後の展開は

(脇本) 中対馬病院跡地を介護サービス付き高齢者住宅や学童施設等を含む高層階建築へ変更する考えは。

(市長) 入居者の負担軽減、住環境や開発行為の許可等、総合的に考慮すると現計画での実施が良好な施設配置である。

(脇本) 上対馬病院建替地(比田勝港国内ターミナル背後地)は、津波被害等が危惧される。対馬近海海底活断層調査の結果、不適となれば設計予算は無駄遣いとなる。また、建設用地の高上げ費用は膨大となる。

(市長) 津波対策については考慮する。施設の老朽化の問題もあり、判断した。

(脇本) 中対馬病院跡地利用は、近隣市営住宅在住世帯への聞き取りのみ。上対

馬病院建替地選定は、住民説明会を未開催。いずれも決定過程が民主的でない。

(市長) 前者は利便性を考慮した結果であり、後者は説明会を実施する時間的余裕がなかったためアンケート調査を行った。

(脇本) 自治体の仕事は、住民サービスの充実と、自ら金を稼ぐことで、資産回転率の向上が鍵である。中対馬病院跡地利用(コンパクトシティ構想)及び上対馬病院建替(貿易振興拠点構想)の2つの事業を再検討すべき。

(市長) 中対馬病院跡地はコンパクトシティの一環である。上対馬病院建替地は早急な対応が必要で、見直す時間的余裕はない。自治体が金を稼ぐことは第一義的ではない。

(脇本) 両事業共3年前から検討に入っており時間切れとなったのは行政自らの責任である。



大浦 孝司議員

◆能登半島地震に学ぶものは

(大浦) 1月1日に発生した能登半島地震は半島の先端部から海底に走る活断層が連動し大惨事を引き起こした。長崎新聞は本県の周辺海域の活断層の位置を公表した。これは2022年に国の機関が明らかにしたもので、対馬周辺の海域に

複数の断層(対馬北方沖、対馬上県西方沖、対馬南方沖、対馬東水道)が存在している。最終処分場の誘致に揺れている現在であるが、

経済産業省が2017年7月に公表した科学的特性マップでは対馬島はグリーン一色(好ましい特性が確認できる可能性が高い)となっている。活断層の分布が明らかになった以上、見直

すことは当然と思うが地震発生について市長の見解は。

(市長) 今後30年、1%から3%の低い確率ではあるが、地震は発生する可能性は十分あると考えている。

(大浦) 過去のデータでは1257年、1410年、1670年、1699年、1700年、1730年、1792年の計7回の記録が宗家文庫史料、對州編年畧たいしゅうへんねんりやくにより確認できる。

◆韓国人観光客の動向は

(大浦) コロナや国際航路の運休が明けた後の韓国人観光客についてどう考えているか。

(市長) 令和5年の韓国人観光客は約12万人、6年度見込みで約18万人と推測している。国際航路は現在2社となっており、比田勝、厳原港を曜日を分けて運航する予定となっている。



波田 政和議員

◆市道堀田線の安全通学路  
設置・整備は

(波田) この区域は歩道も狭く、集合団地が密集しており、大型車両も頻繁に離合する中、通学路としての区分がなされていない。子どもたちの安全のため、早急に通学路の設置及び整備、啓発運動を。

(市長) 歩道を拡張させた場合、家屋や低層のアパート等をも移転させる必要があり、すぐには難しい。1メートル程度のグリーンベルトを施し、今以上に車庫に注意喚起を促すよう取り組む。

◆市長の描く未来創造戦略は

(波田) 全てにおいて布石を打つとのことであったが、戦略が大きく多岐にわたるため、最優先課題の解決へ向けての取組を教えてほしい。

(市長) 人口減少に歯止めをかけるために、子どもの数を増やす。そのためには、県や芸能関係を巻き込んだイベント等を検討し、主に若年層に向けた結婚支援対策、結婚後の生活支援など、国の事業と絡めながら独自政策を打ち出せないか検討中。また対馬出身者のUターン促進、地場産業の育成や企業誘致における働く場所の確保、高齢者の支援対策等に取り組む。

◆核のごみ処分場問題は

(波田) 今回の選挙で圧倒的多数で市民の良識ある判断が証明された。その期待に応えるべく施策を打ち出すべきでは。

(市長) いずれは議員の言われる条例制定を検討していかねばと考えている。この問題については内容等を含め、十分な議論と、市民・市議会の理解が必要なので、動向を勘案しながら検討する。



船越 洋一議員

◆南部地域アクションプランの進捗状況と今後の計画は

(船越) 行政と地区代表者による策定委員会が設置され、内山・瀬地区、豆酸地区、浅藻・内院地区と3つのエリアで構成され、地域住民が主体性を持ち、行政と団体とで協議検討がされていると思うが、現状と計画は。

(市長) エリアごとに協議・

検討を行い、優先度の高いものから取り組む。具体的には南部地域全体の情報発信拠点となる豆酸住民センターの建替えを進める。今年度に施設の解体に向け家屋の事前調査と実施設計を行い、南部地域全体の活性化を図る。

◆厳原東里の温泉の活用は

(船越) この施設は旧厳原町時代に7千万円〜8千万円

かけて温泉を掘削した経緯があるが、20年たっても足湯(漁り火の湯)だけにしか利用されていない。行政として有効利用できる策は。

(市長) 漁り火の湯に新たな温泉施設を造るのはどうなのかと思う。市有地があるので企業誘致で利用できればと思う。

◆副市長2人制は

(船越) 3期目の集大成として、新たな事業にも挑戦し、特に基幹産業である漁業、観光業等多方面に力を入れなければならぬと思うが、副市長2人制にして充実した行政運営を図るべき。

(市長) 漁業、観光業の振興はもちろん、人口減少対策に対応していく上で、副市長2人制として組織、市政運営の充実を図っていく必要があると考え、副市長2人制で3期目の市政に取り組みたい。

## 令和6年度一般会計当初予算 332億2,700万円

令和6年度の一般会計歳入歳出予算の総額は、令和6年3月末が市長の改選期に当たることから、重要な政策的予算を除いた骨格予算としていますが、継続事業、緊急を要する事業、国・県など関係団体との連携が必要な事業などは計上されており、令和5年度当初予算と比較して1.7%（5億6,000万円）の増となっています。

### 令和6年度当初予算総括表

(単位：千円、%)

会計名	令和6年度	令和5年度	増減額	増減率	
一般会計	33,227,000	32,667,000	560,000	1.7	
特別会計	診療所	465,073	451,740	13,333	3.0
	国民健康保険	4,419,738	4,443,736	△23,998	△0.5
	後期高齢者医療	514,221	437,502	76,719	17.5
	介護保険	4,038,931	3,994,514	44,417	1.1
	旅客定期航路事業	47,872	45,943	1,929	4.2
	集落排水処理施設	0	40,878	△40,878	皆減※
水道事業会計	1,845,378	1,608,750	236,628	14.7	
漁業集落排水事業会計	39,976	0	39,976	皆増※	

- ・特別会計、水道事業・漁業集落排水事業会計については常任委員会で審査
- ・水道事業・漁業集落排水事業会計の予算額は、収益的支出と資本的支出の合計額
- ※集落排水処理施設特別会計は地方公営企業法の適用を受け、漁業集落排水事業会計となりました。

### 新規事業ピックアップ

島っこ留学コーディネーター事業【島おこし協働隊事業】  
(教育委員会 教育総務課)

577万8千円

#### 事業概要

「島っこ留学コーディネーター」(島おこし協働隊)を1名配置し、全国から離島留学を希望する児童・生徒を市内小・中学校へ受け入れる島っこ留学制度の事業推進に取り組む。

#### 4つの活動方針

- ①里親の開拓及び支援
- ②対馬特有の留学プログラムの開発
- ③離島留学情報発信
- ④留学生へのサポート・相談支援

	事業名	担当部課	予算額
その他の新規事業	ながさきピース文化祭2025事業	総務部 総務課	118万円
	対馬ブルーカレッジ運営事業	しまづくり推進部 SDGs推進課	1,980万円
	つしま人財コーディネーター事業	しまづくり推進部 しまの力創生課	577万円8千円
	湯多里ランドつしま施設維持・機能向上事業	観光交流商工部 観光商工課	4,700万円
	対馬市GIS写真地図データ更新事業	市民生活部 税務課	1,243万円
	南部住民センター屋上防水改修事業	中対馬振興部 地域振興課	1,040万円
	高機能消防指令センター整備更新事業	消防本部 総務課	1億3,700万円
	消防ポンプ自動車購入事業	消防本部 総務課	6,708万2千円
	厳原中学校大規模改造事業	教育委員会 教育総務課	1億765万8千円
	社会教育施設改修事業	教育委員会 生涯学習課	4,975万2千円
	スクールバス購入事業	教育委員会 学校教育課	945万9千円
	しまのスポーツプロモーター事業	教育委員会 生涯学習課	563万5千円
	衆議院小選挙区選出議員補欠選挙	選挙管理委員会	4,468万9千円

## 議会広報編集特別委員会行政視察

視 察 日

令和6年1月30日(火)

視 察 先

福岡県糟屋郡須恵町

視 察 内 容

議会だよりの作成について



対馬市議会が発行する「議会だよりつしま」をより良いものにするため、須恵町議会を訪問し、議会だよりの作成について研修を行いました。

須恵町議会が発行する「須恵町議会だより 須恵」は町村議会広報全国コンクールにおいて金賞を受賞したこともあり、各市議会からの視察を多く受け入れています。

多くの方に議会だよりを見ていただくため、手に取ってみたいくなる表紙づくりや住民の活動を紹介するなど、いろいろな取組を学びました。

先進地の取組を参考に、今後も見やすく読みやすい議会だよりを目指します。



### 編集後記

寒い冬も終わり、桜の花も満開の季節となりました。

今年で市制も20周年となります。

市長選も終わり、これから市制20周年を祝うイベントがいろいろ予定されています。

私も編集委員となり初の編集後記を作成することになりました。

1月末に議会広報編集特別委員会で、素晴らしい議会だよりを作成されている福岡県須恵町議会に行政視察に行ってきました。

その成果を活かしてこれからの議会だよりが、読みやすく、親しみやすい紙面となるよう頑張りたいと思います。

(文責…神宮保夫)



議会広報編集特別委員会

〔委員長〕 陶山 莊太郎  
〔副委員長〕 入江 有紀  
〔委員〕 神宮 保夫  
島居 真吾  
坂本 充弘  
小島 徳重